沖縄県社保協ニュース

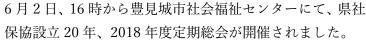


沖縄県社会保障推進協議会 会長 新垣安男 事務局長 高崎大史 那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3 階 沖縄界医連内 008-823-2207 Moilighia 2018 6.7 19期 No.1 《部内資料》

沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

県社保協設立 20 年総会 記念講演とあわせ 91 名参加





冒頭、新垣安男会長よりあいさつ

高崎事務局長より、総括方針報告。

戦後最悪の社会保障制度改悪から住民の命と暮らしを 守る運動を自治体や地域と共同してすすめようと提案。

討議では、「こども医療費無料化署名にとりくもう」(保 険医協会 仲里会長)など各団体より7名発言、地域社保 協より6名リレートーク。13名の発言で総会を盛り上げ ました。引き続き、新垣安男会長はじめ新役員を選出。山 里新副会長のあいさつで一部を閉会しました。

17時30分より、大阪社保協の寺内順子事務局長の記念 講演「社会保障と自治体の危機にどう立ち向かうか」大阪 の豊富な地域社保協の経験から「社保協抜きに地域の社会 保障制度の改善は考えられない」という明快なお話。

参加者からは「沖縄でも地域社保協の拡大を」「情報収集と 分析、地域の運動の進め方がよくわかった」「社保運動を支 える一人になりたいと思った」など好評でした。

自治体首長からは翁長県知事、那覇市長、糸満市長、浦 添市長、南風原町長、与那原町長、西原町長、今帰仁村長、 北中城村長の9名からメッセージをいただきました。



| 選出された役員 | 選出された役員 | 選出された役員 | 副会長 大城郁男(医療生協) | 副会長 | 六井輝明(県労連) 新 | 事務局 | 八井輝明(県労連) 新 | 事務局 | 八井輝明(県) 東 | 八井輝明(東 | 八井輝明(県) 東 | 八井輝明(東 | 八井曜明(県) 東 | 八井曜明(東 |

沖縄県社会保障推進協議会設立 20 周年記念総会知事メッセージ

はいさい、ぐすーよー、ちゅーうがなびら。

沖縄県社会保障推進協議会が設立 20 周年を迎えられましたことに対し、心からお祝い申し上げます。

設立以来、会長の新垣安男様をはじめ、会員の皆様には、社会保障制度について、県民目線に立った幅広い御意見等をいただくと共に、講演や先進事例の紹介等により、県民へ広く制度の啓発を行っていただくなど、社会保障制度の改善、充実を目指す取組に多大な御尽力をいただいていることに、深く敬意を表します。

さて、沖縄県においては、深刻な子どもの貧困や待機児童の問題、少子高齢 化の進行などに伴い、子ども医療費助成や国民健康保険等の社会保障制度に 関する様々な課題が残されております。

このため、沖縄県では、それぞれの地域で県民が適切なサービスを受けられるよう、保健、医療、福祉の提供体制を整備するとともに、人材育成の充実など各種施策を展開し、「沖縄21世紀ビジョン改定基本計画」に掲げる「健康・長寿おきなわ」の復活や、将来を担う子ども達が夢や希望を持って、健やかに生まれ育ち、豊かな才能を発揮できる社会の実現を目指し取り組んでおります。

貴会におかれましても、県民一人ひとりが、心豊かで安全・安心に暮らせる社 会の実現に向けて、今後とも、県政に対する御理解、御協力を賜りますようお願 い申し上げます。

結びに、設立20周年の節目を迎えられました沖縄県社会保障推進協議会の 今後益々の御発展と、本日お集まりの会員の皆様の御活躍、御健勝を祈念しま してお祝いの言葉といたします。

平成30年6月2日 沖縄県知事 翁長 雄志





暮らし守る取り組みを 県社保協20年講演会

県社会保障推進協議会 (新垣安男会長)の定期総 会と設立20年を記念した講 演会が2日、豊見城市社会



福祉センターで開かれた= 写真。大阪社会保障推進協議会(大阪社保協)の寺内順子事務局長が「社会保障と地方自治の危機にどう立ち向かうか」の演題で講演し、情報公開と自治体への独自アンケートなどを通してデータを集積する取り組みなどを紹介した。

大阪社保協は、51の地域 社会保障推進協議会を組織 している。寺内事務局長は 「社保協なくして地域住民 の命と暮らしを守ることは できないと確信している」 と強調し、各地域の社保協 づくりを推進している意義 を語った。

また、毎年4月から大阪 府内の43市町村に対して、 国民健康保険や介護保険、 子ども施策などのアンケート調査を実施している取り 組みを紹介した。自治体の 比率や順位を分析して冊子 を作成し、冊子を自治体に 渡すことによって市町村と の信頼関係を構築している ことを明かした。